

北海道青年革新懇ニュース

9月29日

第四回北海道青年フェスタを開催

北海道青年革新懇も実行委員会に加入している第四回北海道青年フェスタが9月29日（日）札幌で開催されました。



今回は、大通札幌駅間の地下歩行空間（チカホ）で行われた2013ユニオンフェア「労働組合って、けっこう凄いんです。」（北海道労働組合総連合主催）の一部として、開催しました。

前回と違い、多くの人が行きかう場所のため、どうアピールするかが課題でしたが、実行委員会が中心となり、労働現場の実態を寸劇で表現し、橋本祐樹弁護士（当会会員）に解説してもらいました。

「働きはじめのプレッシャー」「職場で働くプレッシャー」「職場で事故に遭った際のプレッシャー」「雇い止めのプレッシャー」と、働き始めてからやめるまでの問題を取り上げ、さらに、実際の経験談をもとに「美容室はてんでこ舞い」といった内容の寸劇を披露しました。

私たちは、働くルールについて、ほとんど学ぶことなく、無防備なまま働き始める人が多くいます。そのうち、理不尽な「当たり前」に流され、逆に、ルールを守らないことに加担してしまう可能性も持っています。働くルール・労働法などの“鎧”を身につける大切さが伝わってくる内容でした。

しかし、“鎧”を身につけただけで、解決しないこともあります。今年、労働組合を結成し、全員解雇から雇用継続を勝ち取った、組合の方の話聞くことができました。労働を守るために団結することの大切さ。なかなか普段労働組合について学ぶ機会のない人にとっては良い経験ではなかったのでしょうか。

さらに、フロアからのマイクリレーで、学生の実態などの声が上がりました。最後には、地上に出てパレードをしました。昨年は大通西11丁目周辺でしたが、今年は、さっぽろ駅周辺で、多くの人にアピールできたのではないかと思います。



今後も、いろいろな団体・個人が横のつながりをもって、大きく運動を広めていきたいですね。（Y）